

# 奇跡の確率

～カミナリさまに愛された男～



宝くじで一等が当たる確率は100万分の1と言われているそうですが、雷に当たる確率も同じだそうです。ウォルター・サマー・フォードという青年は乗馬もしているところ、雷に打たれたが生還した。しかしその後数年、木の下でくつろいでいたところ、またしても落雷にあつた。その際は大きなダメージも受けたがリハビリ後、復活！雷に2度打たれた男として有名になつた。この時点ですごい確率だったが彼の人生は、確率も超えていく。二、その、2年後、散歩の途中、まさかの3度目の落雷。これが原因で彼は亡くなつた。100万分の1を人生で3回... 二、神が狙つたと言われた方が自然に思える話だ。雷に愛された男は埋葬され、その後、4度目の落雷が彼の墓に落ちた。〇〇このお話は実際にあった話。「事実」は小説よりも奇なり、何が起きるか分からない人生... もてもし楽しんでほうがいいのかもしれませんね。



よちん  
だより

2025.12月号 vol.191

(株)ISO

保険の相談パートナー

飯田康弘

090-1638-5351

今年も一年あつた  
おめでとう  
お返しは  
いつか



## 四季を楽しむ

～秋～

昨日、お客様宅への途中... あっ!!

たくさんの銀杏が

お仕事中に癒されていたのでした

銀杏



## 蓮

しやうぶじょう

～「諸行無常」～

りづみ

ある職人が最近の若い職人の技術に脅威を感じ不安に悩んでいることをブログに伝えました。そんな職人もみてブログは蓮池の蓮を指さしこう言いました。「蓮は朝に咲き夕べに閉じる。その中に大切な教えがあるのです。職人「どんな教えですか？」 ブログ「諸行無常という教えです。全ては変化し永遠に続くものはない。でもそれは恐れることはありません。変化こそが新しい美しさと可能性を生むのです。あなた自身もそうです。受け入れ学ぶのです。蓮は閉じてもまた新しく咲きます。あなたにも新しい機会が用意されているでしょう。あなたの技術を活かしながら新しい可能性を探ることもできるでしょう」この教えを聞いた職人は... 未来を感じたのでした。

考えさせられますね